

質問書に対する回答

工事名：東京外かく環状道路 中央ジャンクション北地中拡幅(南行)工事

| No. | 質問事項 | 回答 |
|-----|---|--|
| 1 | 【技術提案書全般】 配布資料P.3における品確法の「工法、価格等の交渉…」の等は、工期が含まれるのでしょうか。 | 本工事の契約方式は、技術提案・交渉方式(設計交渉・施工タイプ)としており、説明書P19に示す「4-13.価格等の交渉」には、工期も含まれるとお考えください。 |
| 2 | 【技術提案項目一】 「経済性及び工程計画の妥当性」は、どのように判断されるのでしょうか。工費と工期のどちらに重点をおかれますか。 | 工事実施方針を踏まえた経済性および工程計画の妥当性、計画実現の可能性について評価いたします。 |
| 3 | 【技術提案項目一】 希望される供用開始時期や工期の上限があれば御教授下さい。 標準積算で昼のみを昼夜施工にするとか、プレキャスト化を図るとか、多少工費が上がっても工期を短くする必要はありませんでしょうか。 | 供用開始時期や工期の制限はありません。それぞれの技術提案項目に応じた提案内容によって、概算工費や工期を提案願います。 |
| 4 | 【技術提案項目一】 概算工事費について、更なる内訳等の明示が要求されますか。 | 技術対話を通じ、必要に応じて提出を求める場合がございます。 |
| 5 | 【技術提案項目一】 今回提出する工費(単価)や工期に拘束性はありますか。 | 拘束性はありません。 |
| 6 | 【技術提案3 外殻部】 配布資料説明書P.5、「・外殻部施工時の工事計画に与える影響」とありますが、設問の趣旨を御教授下さい。 | 「外殻部施工時の工事計画に与える影響」とは外殻部の施工方法により地中拡幅部工事の工事計画に与える影響です。「地中拡幅部(中央JCT、青梅IC)の工法の考え方まとめ(平成28年3月24日)東京外環トンネル施工等検討委員会」に示す「施工延長に応じて発進・到達を伴う施工を繰り返し行う必要があり、またコスト、工期の増大も懸念される」という観点に基づきお考えください。 |
| 7 | 【説明書一 優先交渉権者の決定方法】 「同一の技術提案」の考え方を御教授下さい。 例えば、外殻部の施工において、同じシールド工法でも泥水式と泥土圧式とでは「同一の技術提案」となるのでしょうか。 | 具体的な内容は、技術対話にて確認させていただきます。 |
| 8 | 【その他】 A・Hランプシールド工事における残置物件はありますか。 今回は、坑内・立坑・坑外設備ともに全て無いものとして、新規計上すべきですか。 | 基本性能・基本条件書(4/9)ランプトンネルの構造条件に示す以外に、ランプシールド工事の残置物はありません。全ての仮設備は本工事で設置するものとお考えください。 |

質問書に対する回答

工事名： 東京外かく環状道路 中央ジャンクション北地中拡幅(南行)工事

| No. | 質問事項 | 回答 |
|-----|--|---|
| 9 | <p>【その他】 優先交渉権者の選定において、N中様とN東様で評価点が異なることはあるのでしょうか。 評価点は違うとして、合流と分岐で順位が変わる事もあるのでしょうか。</p> | 各社それぞれ評価を行います。 |
| 10 | <p>【その他】 「NEXCO東日本とNEXCO中日本で合同で技術提案のプレゼンテーションを行う場合がある。」と記載されてますが、 NEXCO東日本とNEXCO中日本に提出した技術提案書が同一の場合に合同開催されるのでしょうか。</p> | NEXCO東日本とNEXCO中日本に重複して申請書を提出している単体又は特定JVの構成員を含む特定JVは、合同で技術提案のプレゼンテーションを実施する場合があります。 |